

70<sup>th</sup>

FUJITEC

# 2019年3月期第2四半期 決算説明会

フジテック株式会社  
2018年11月22日(木)



© 渋谷ストリーム



渋谷ストリーム(東京)

1. 2019年3月期 第2四半期実績
2. 2019年3月期 通期業績予想

# 1. 2019年3月期 第2四半期実績

## 東アジアが低調で減収減益

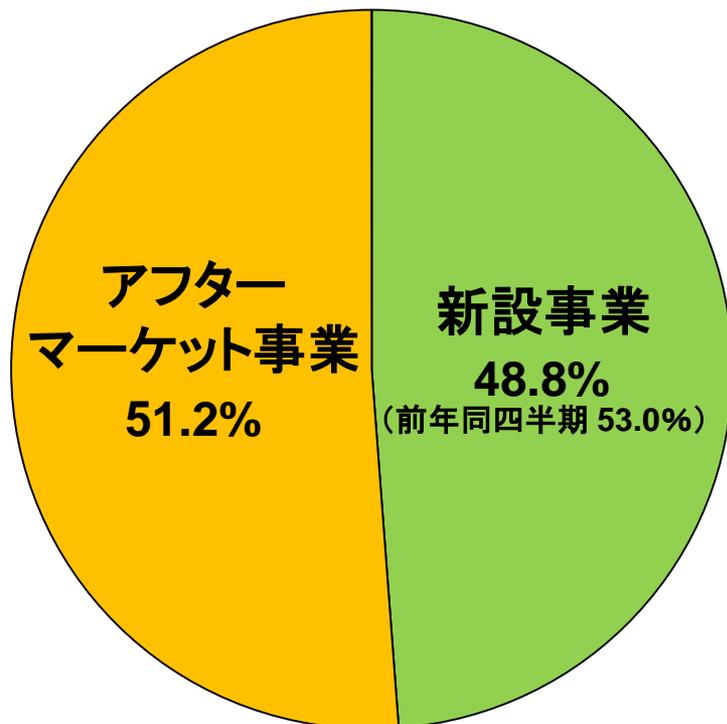
(単位:百万円)

	2019/3 (2Q)	構成比 (利益率)	期初計画	2018/3 (2Q)	構成比 (利益率)	増減 (同四半期比)
受注高	84,821	100.0%	—	87,690	100.0%	△3.3%
国内	37,117	43.8%	—	35,669	40.7%	+4.1%
海外	47,703	56.2%	—	52,021	59.3%	△8.3%
売上高	77,482	100.0%	80,000	81,428	100.0%	△4.8%
国内	30,306	39.1%	—	29,469	36.2%	+2.8%
海外	47,175	60.9%	—	51,959	63.8%	△9.2%
営業利益	4,143	5.3%	4,500	5,369	6.6%	△22.8%
経常利益	4,961	6.4%	5,000	6,257	7.7%	△20.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,935	5.1%	4,000	4,527	5.6%	△13.1%
EPS	48.74円	—	49.59円	56.15円	—	△7.41円

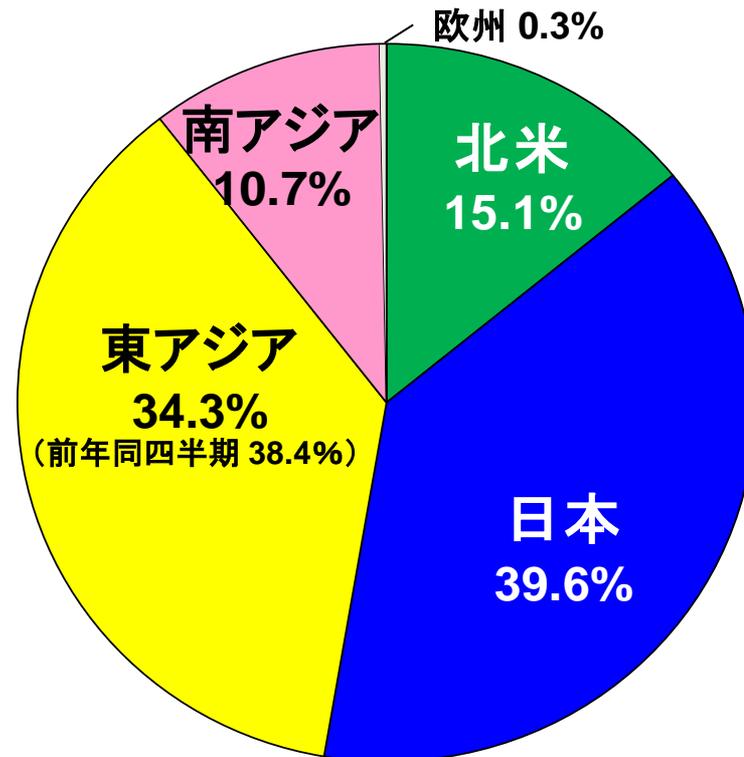
平均為替レート : 19/3 2Q : 1米ドル108円、18/3 2Q : 1米ドル112円

## 東アジア減収だが、売上比率は海外が6割を維持

### 事業別売上高



### セグメント別売上高



## 東アジア、日本が減益。南アジア、北米は微増

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2019/3 (2Q)	2018/3 (2Q)	増減%	2019/3 (2Q)	2018/3 (2Q)	増減額
日 本	32,094	30,953	+3.7%	1,547	2,156	△609
東 ア ジ ア	30,394	35,123	△13.5%	849	1,660	△810
南 ア ジ ア	8,338	8,219	+1.5%	1,251	1,203	+47
北 米	11,748	12,145	△3.3%	453	437	+15
欧 州	203	273	△25.7%	△56	△42	△14
小 計	82,779	86,714	△4.5%	4,045	5,415	△1,370
調 整 額	△5,297	△5,286	—	97	△46	+143
合 計	77,482	81,428	△4.8%	4,143	5,369	△1,226

平均為替レート：19/3 2Q：1米ドル108円、18/3 2Q：1米ドル112円

## 固定費増加で減益。売上は過去最高を更新

### 需要動向

- ・新設はホテル、事務所向けの需要が堅調
- ・モダニゼーションは官公庁向けが好調

(単位:百万円)

	2019/3(2Q)	2018/3(2Q)	増減
売上高	32,094	30,953	+3.7%
営業利益	1,547	2,156	△28.3%
営業利益率	4.8%	7.0%	△2.2P

### 事業概況

- ・新設事業、アフターマーケット事業とも増収
- ・人件費など固定費の増加で減益



大手町プレイス(東京)

## 中国の価格競争が響き減収減益

### 需要動向

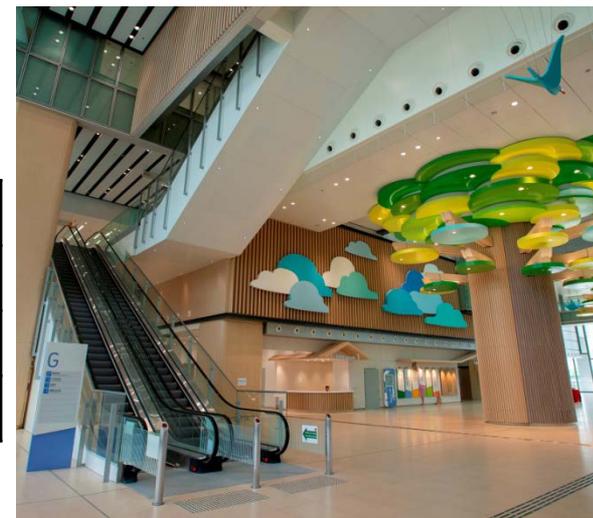
- ・中国の新設需要は数量ベースで微増  
価格競争の厳しい市場環境が継続

(単位:百万円)

	2019/3 (2Q)	2018/3 (2Q)	増減
売上高	30,394	35,123	△13.5%
営業利益	849	1,660	△48.8%
営業利益率	2.8%	4.7%	△1.9P

### 事業概況

- ・中国の新設が減少。販売単価の下落も影響
- ・営業利益は香港が前期並み、台湾は増益
- ・韓国は減収減益



香港児童病院(香港)

## シンガポール、アセアン地域が堅調に推移

### 需要動向

- ・シンガポール、アセアン地域で堅調な需要
- ・インドは新設受注が好調

(単位:百万円)

	2019/3(2Q)	2018/3(2Q)	増減
売上高	8,338	8,219	+1.5%
営業利益	1,251	1,203	+4.0%
営業利益率	15.0%	14.6%	+0.4P

### 事業概況

- ・シンガポール、アセアン地域は前年同期並みを維持
- ・インドは新設事業、メンテナンスとも増収
- ・営業利益はアフターマーケット事業が牽引



チャウ・キット・トレードセンター  
(マレーシア)

## 景気拡大を背景に増益基調

### 需要動向

- ・景気拡大で需要が堅調

(単位:百万円)

	2019/3(2Q)	2018/3(2Q)	増減
売上高	11,748	12,145	△3.3%
営業利益	453	437	+3.6%
営業利益率	3.9%	3.6%	+0.3P

### 事業概況

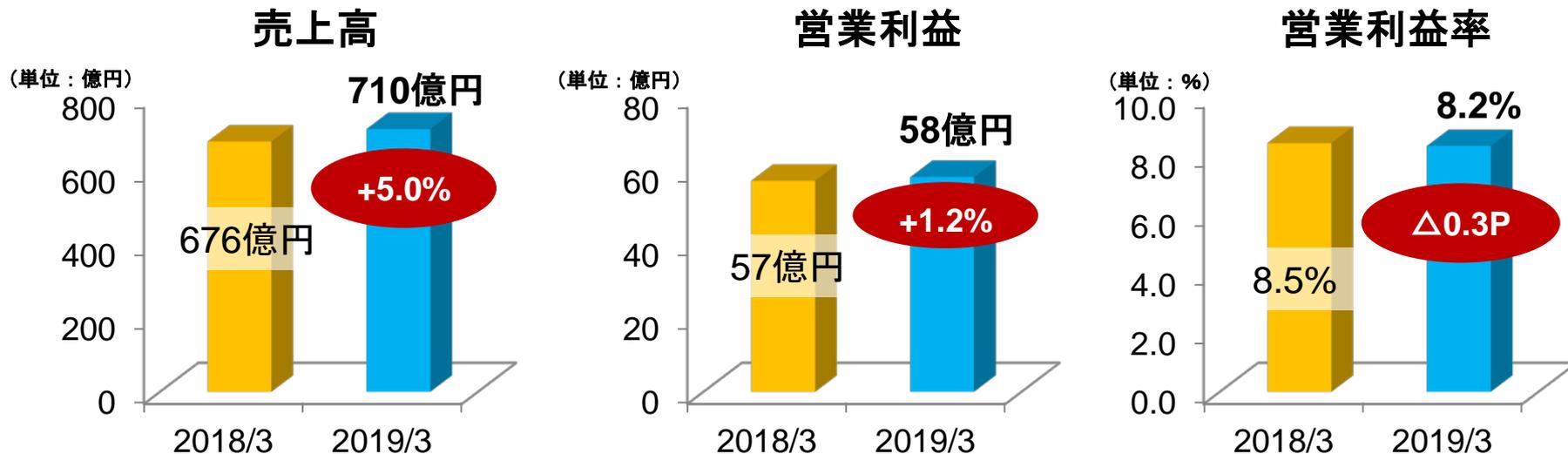
- ・新設事業のプロジェクト延伸で減収
- ・営業利益は新設事業と修理工事で増益



ワン・ウエスト・エンド  
(米国)

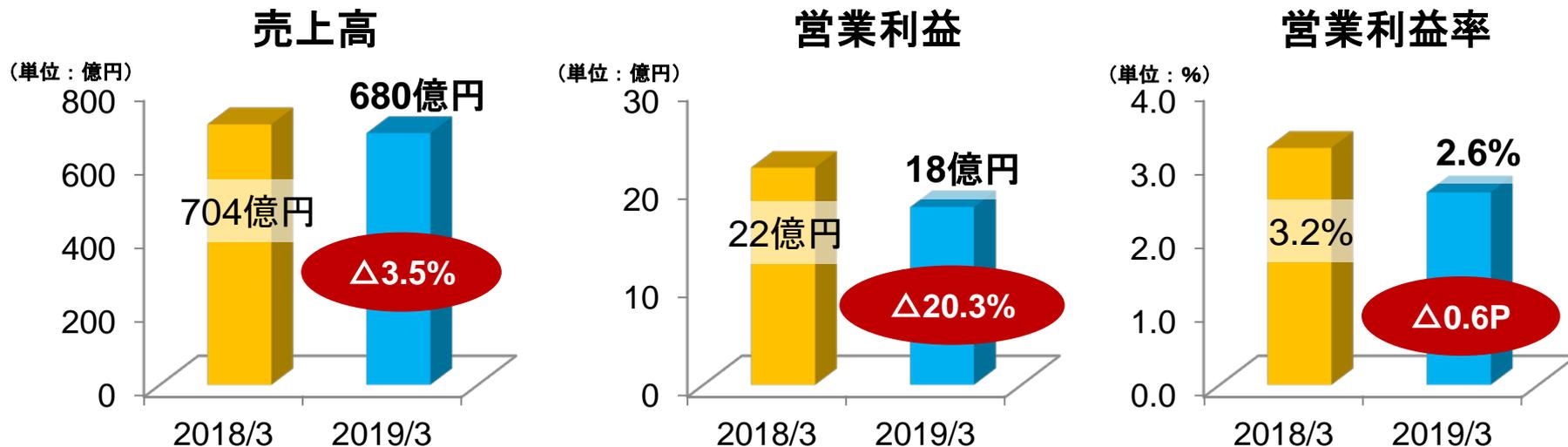
## 2. 2019年3月期 通期業績予想

## 3期連続の増収増益を見込む



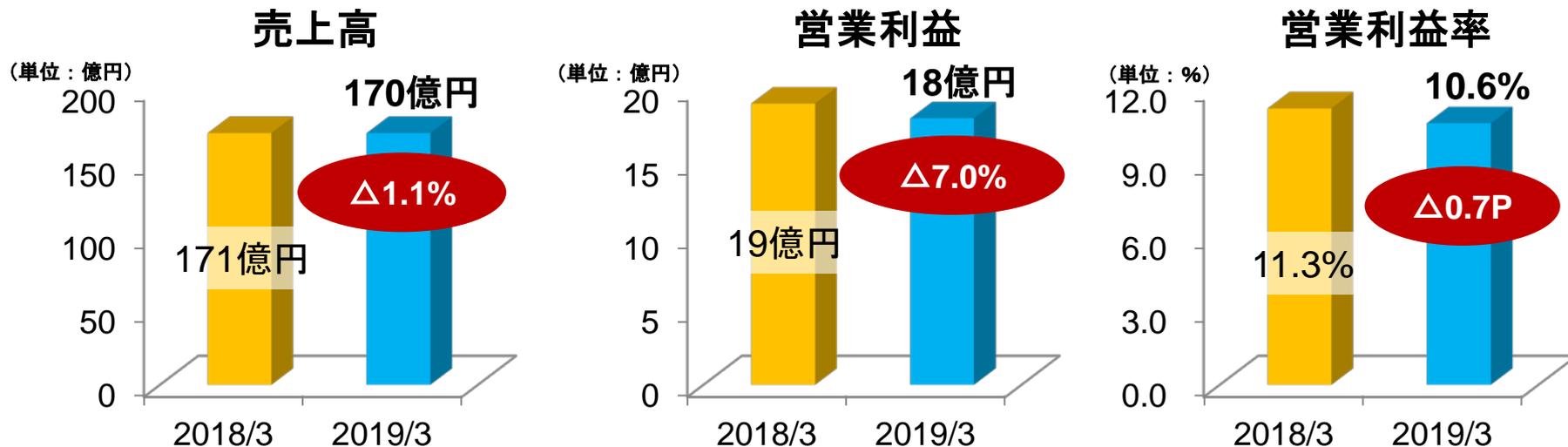
- ・首都圏を中心に需要は旺盛
- ・新設、モダニゼーションの積み上げに加え、メンテナンスが拡大
- ・下半期の売上増加で固定費吸収

## 下期は中国が上向き、通期計画達成の見通し



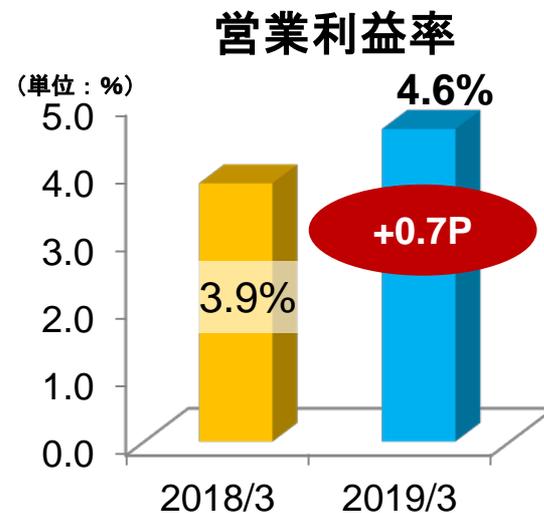
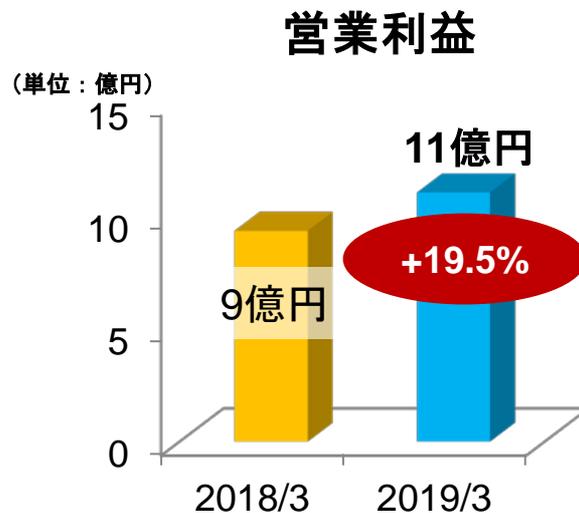
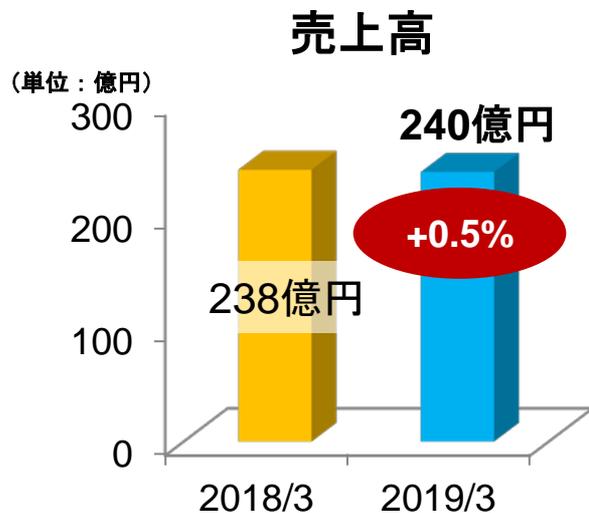
- ・中国は採算重視と受注単価引き上げ効果で下期に追い上げ
- ・香港は減収。台湾は増収増益
- ・韓国の不採算案件は今期中に終息

## 期初計画通りの着地見込む



- ・シンガポールで新設事業の利益率低下を織り込む
- ・インドは増収

## 業容は順調に拡大。利益率も改善傾向



- ・プロジェクト遅延も計画通りの着地見通し
- ・中国との貿易摩擦は来期以降の懸念材料

## 中計最終年度は修正計画通り

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2019/3 (通期)	2018/3 (通期)	増減%	2019/3 (通期)	2018/3 (通期)	増減額
日 本	71,000	67,646	+5.0%	5,800	5,728	+71
東 ア ジ ア	68,000	70,442	△3.5%	1,800	2,257	△457
南 ア ジ ア	17,000	17,191	△1.1%	1,800	1,936	△136
北 米	24,000	23,871	+0.5%	1,100	920	+179
欧 州	300	511	△41.3%	0	△67	+67
小 計	180,300	179,662	+0.4%	10,500	10,774	△274
調 整 額	△10,300	△10,867	—	△200	△109	△90
合 計	170,000	168,795	+0.7%	10,300	10,665	△365

平均為替レート：19/3期：1米ドル105円、18/3期：1米ドル112円

## 設備投資・減価償却費・研究開発費・配当

(単位：百万円)

	2019/3	2018/3	増減額
設備投資額	3,600	2,337	+1,263
国内	2,600	1,181	+1,419
海外	1,000	1,156	△156
減価償却費	3,100	2,915	+185
研究開発費	2,600	2,323	+277

(単位：円)

	2019/3	2018/3	増減額
配当金	42	35	+7
中間	20	15	+5
期末	22	20	+2

※2018年3月期の期末配当実績は創業70周年の記念配当5円を含んでいます。

## 参考資料

(単位：百万円)	2019/3(2Q)	2018/3末	増減額	備考
流動資産	125,401	127,530	△2,129	
現金及び預金	49,715	49,856	△140	
受取手形及び売掛金	49,132	53,411	△4,279	日本、南アジアでの減少
棚卸資産	23,568	21,864	+1,703	東アジアでの増加
その他	5,164	4,500	+663	
貸倒引当金	△2,179	△2,102	△76	
固定資産	53,948	54,972	△1,024	
有形固定資産	34,215	34,388	△173	設備投資+1,260 減価償却費△1,318 為替ほか△115
無形固定資産	3,782	4,029	△247	
投資その他の資産	15,950	16,553	△603	
総資産	179,350	182,503	△3,153	
流動負債	63,243	66,821	△3,578	前受金+1,241 支払手形及び買掛金△1,678 短期借入金△1,628
固定負債	4,638	3,859	+779	
純資産	111,468	111,822	△353	利益剰余金△1,959 自己株式+4,351 為替換算調整勘定△2,180 非支配株主持分△433
自己資本比率	56.0%	55.0%	+1.0P	
B P S	1,243.49円	1,243.46円	+0.03円	

(単位：百万円)

	2019/3 (2Q)	2018/3 (2Q)	増減額
現金及び現金同等物期首残高	24,043	20,910	+3,133
営業活動キャッシュ・フロー	4,659	8,397	△3,738
投資活動キャッシュ・フロー	279	△610	+890
フリーキャッシュ・フロー	4,939	7,787	△2,848
財務活動キャッシュ・フロー	△3,542	△3,444	△98
現金及び現金同等物四半期末残高	24,750	24,852	△102

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円 (発行済株式数90,067,000株)
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：7名 (うち社外3名) 監査役：4名 (うち社外3名)
従業員数	連結 9,886名 (個別 2,990名)
関係会社	34社 (内、連結子会社19社) (米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東)

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2018年11月22日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2018年11月22日

**フジテック株式会社**

2019年3月期第2四半期 決算説明会資料

